



株式会社クレオ

2020年3月期 第1四半期 決算 補足説明資料

2019年7月31日

株式会社クレオ (JASDAQ:9698)

2020年3月期 1Q 連結業績概要

(単位：百万円、%)

	2019年3月期 実績	2020年3月期 計画値	2020年3月期 実績	前期比		対計画比	
				増減	%	増減	%
売上高	2,839	3,089	2,998	159	5.6	▲90	▲2.9
営業利益	4	20	117	112	-	97	485
経常利益	7	20	124	116	-	105	524
純利益	▲1	▲110	55	57	-	165	-

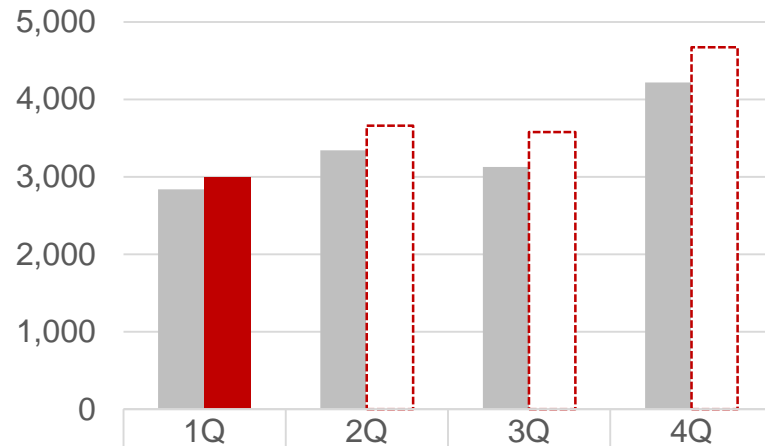
■ 連結業績概要について

- 売上高：システム運用・サービス事業を除くすべての事業の伸長により、前期比で1億59百万円増加
- 営業利益：主にソリューションサービス事業およびサポートサービス事業の増益が寄与したことなどにより、前期比で1億12百万円増加
- 経常利益：営業利益の増加により、前期比で1億16百万円増加
- 純利益：経常利益の増加により、前期比で57百万円増加

四半期別の売上高・営業利益

四半期別売上高

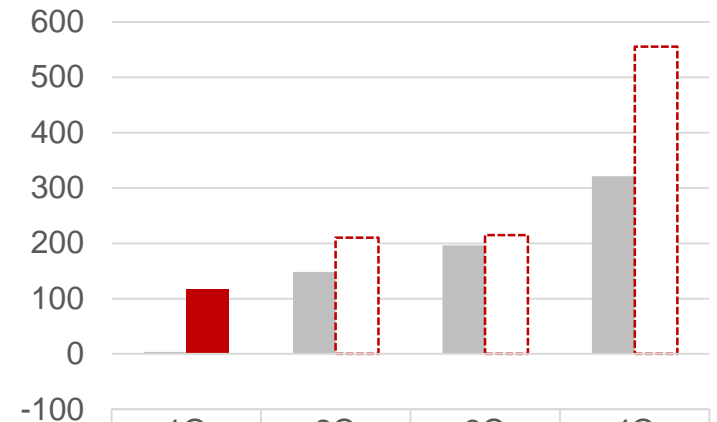
(単位：百万円)



	1Q	2Q	3Q	4Q
■ 前期実績	2,839	3,341	3,128	4,217
■ 当期実績	2,998	3,661	3,577	4,673

四半期別営業利益

(単位：百万円)



	1Q	2Q	3Q	4Q
■ 前期実績	4	148	196	321
■ 当期実績	117	210	215	555

■ 第4四半期に営業利益計上が偏重する例年の傾向に変化あり

- 第4四半期に営業利益計上が偏重するため、過去は第1四半期は営業損失が発生する傾向があったが、2018年度以降は第1四半期から案件大型化による売上・利益計上の安定化などが見込まれ、2019年度は第1四半期より営業利益を黒字で計画

3力年度の業績推移（第1四半期累計）

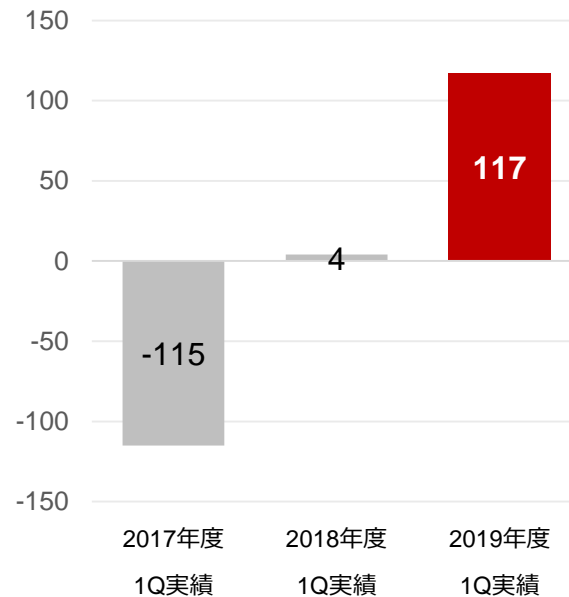
単位：百万円

売上高



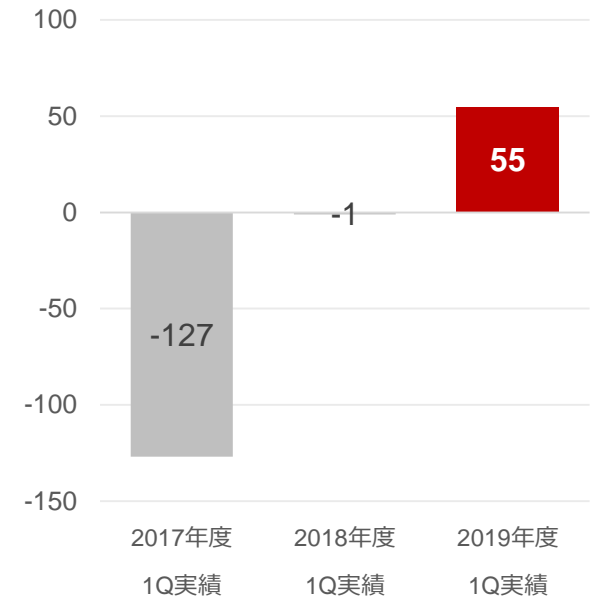
2019年度はソリューションサービス事業13.9%を筆頭に各事業が堅調に成長。

営業利益



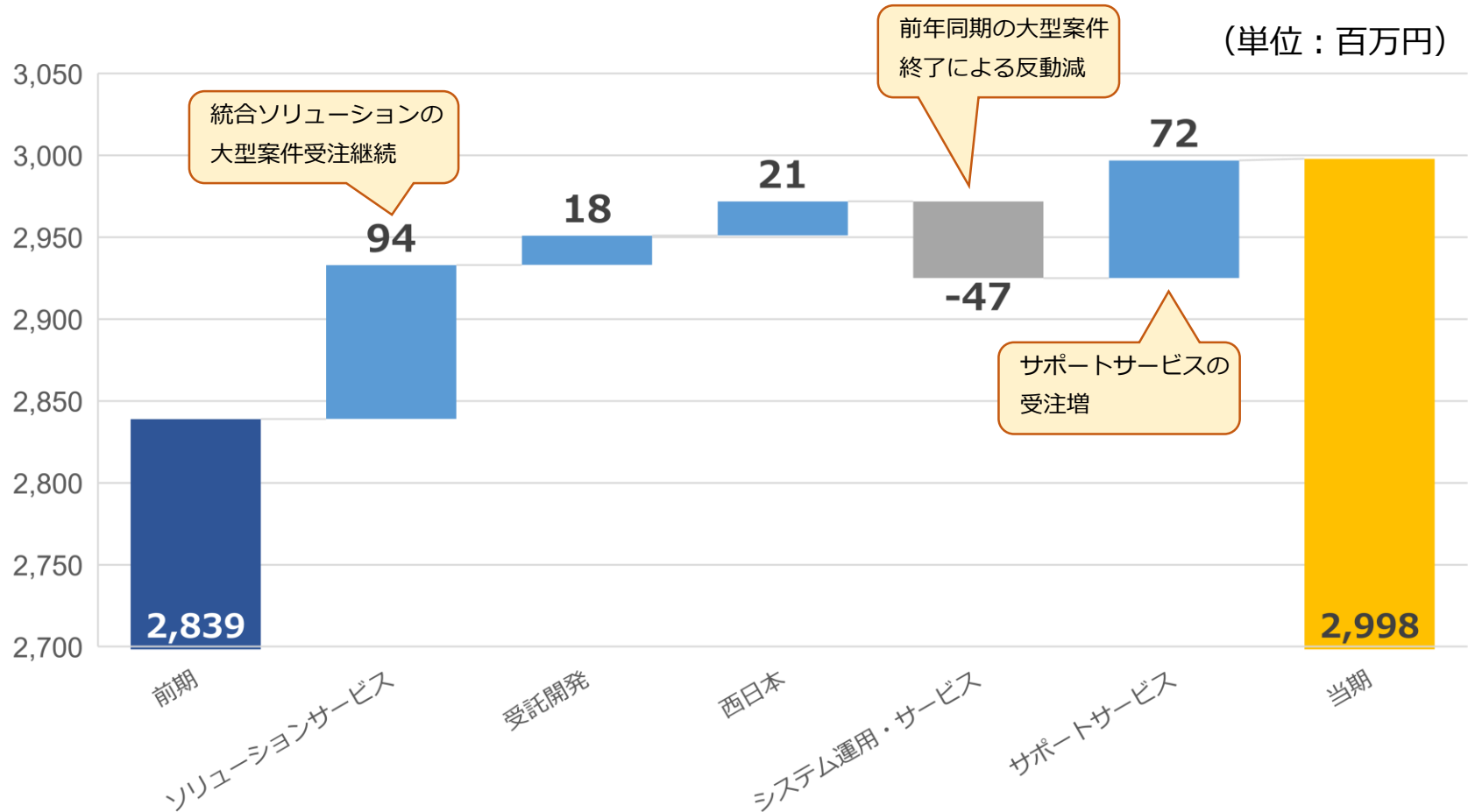
2018年度から伸長は P.3 に記載の収益構造変化による。

純利益

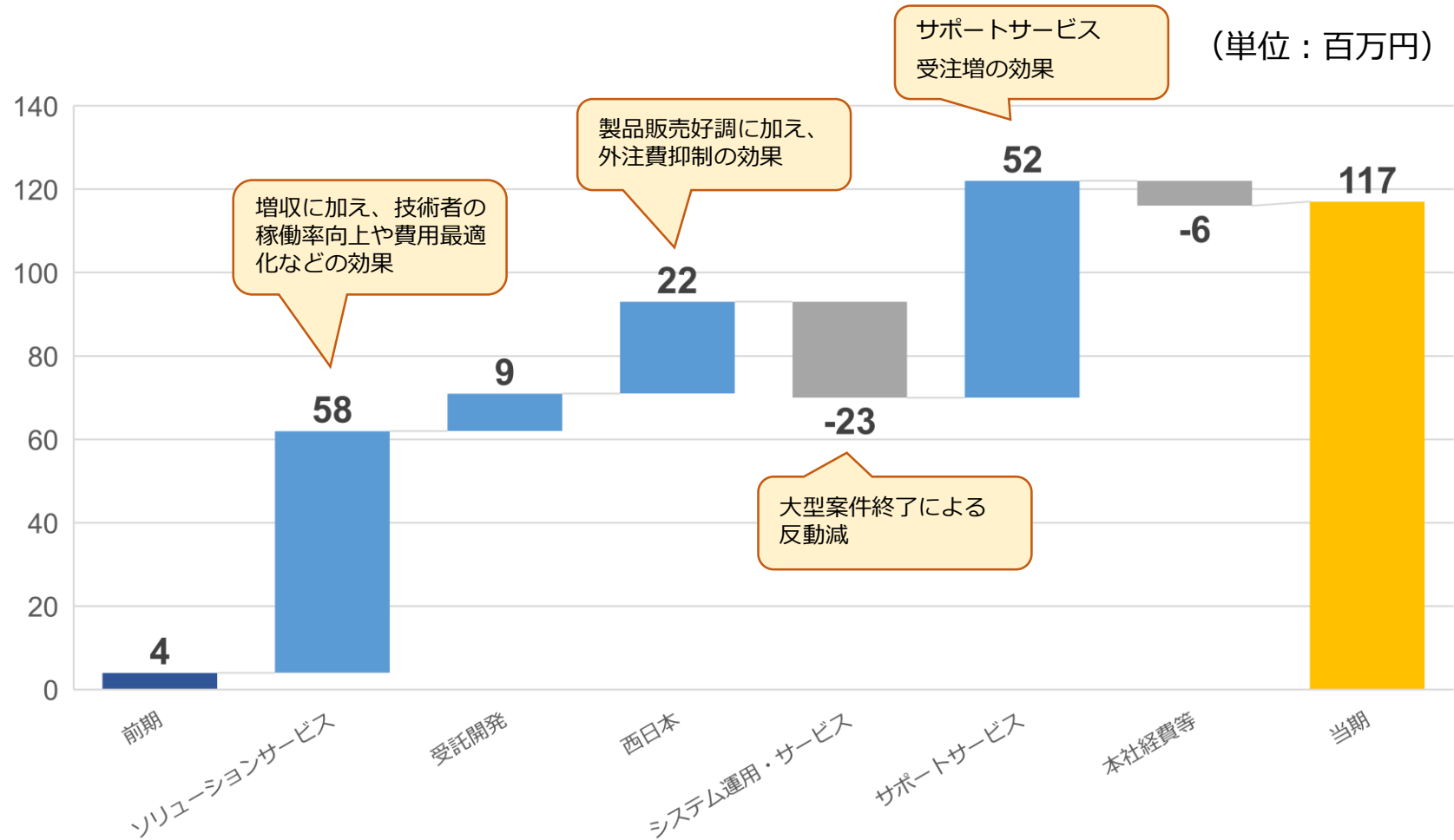


2018年度の伸長は営業利益の増加および法人税等調整額の計上による税負担の軽減。

連結売上高 1Q 前期比 増減内訳



連結営業利益 1Q 前期比 増減内訳



2020年3月期 1Q セグメント別売上高の概要

(単位：百万円、%)

	2019年3月期 1Q実績	2020年3月期 1Q計画値	2020年3月期 1Q実績	前期比		対計画比		売上 構成比
				増減	%	増減	%	%
ソリューションサービス事業	683	847	778	94	13.9	▲68	▲8.1	26.0
受託開発事業	255	252	273	18	7.1	21	8.6	9.1
西日本事業	295	295	316	21	7.2	21	7.3	10.6
システム運用・サービス事業	572	603	525	▲47	▲8.2	▲77	▲12.9	17.5
サポートサービス事業	1,032	1,157	1,105	72	7.0	▲51	▲4.5	36.9
連結合計	2,839	3,089	2,998	159	5.6	▲90	▲2.9	100

■ システム運用・サービス事業

前年度期末をもって契約終了となった案件や、前年同期に短期間の大型案件があったことの反動減

■ その他 4 事業

事業モデルの転換や継続的な需要の取り込みにより、前期比 5～10% の成長。

2020年3月期 1Q セグメント別営業利益の概要

(単位：百万円、%)

	2018年3月期 1Q実績	2020年3月期 1Q計画値	2020年3月期 1Q実績	営業利益率 (%) ※	前期比		対計画比	
					増減	%	増減	%
ソリューションサービス事業	87	95	145	18.7	58	67.1	50	53.4
受託開発事業	33	38	43	15.7	9	26.7	5	13.3
西日本事業	24	30	46	14.8	22	91.1	16	55.6
システム運用・サービス事業	45	20	22	4.2	▲23	▲51.7	2	10.4
サポートサービス事業	12	46	65	5.9	52	424.1	19	41.6
本社経費等	▲198	▲209	▲205	-	▲6	3.4	3	-
連結合計	4	20	117	3.9	112	-	97	485.3

※ 連結子会社が運営する「システム運用・サービス事業」「サポートサービス事業」以外の3事業については、営業利益の算出にあたり、本社経費等の配賦を行っておりません。

■ 製品販売系事業の増益が連結業績を牽引

ソリューションサービス事業の営業利益率は前期 12.8% から 5.9 ポイント上昇

西日本事業の営業利益率は前期 8.3% から 6.5 ポイント上昇

ソリューションサービス事業、西日本事業といった製品販売系事業の増益が連結増益に寄与



株式会社クレオ

本資料に記載される見通し、今後の予測、戦略などに関する情報は、本資料作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲でなした判断に基づくものです。しかしながら、現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の見通しとは異なる結果を生じるリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の見通しのみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控え下さるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であっても、本資料を無断で複写・複製、または転送などを行わないようにお願いします。